



# Co-Creation vol.04

with the community



## CONTENTS

- P1 学長メッセージ / Co-Creation 第4号発行にあたって
- P2 特集：福岡未来創造プラットフォーム始動
- P3 MICE 人材基礎講座 / ビジネスチャレンジ事業
- P4 学生地域活動大賞 / 福岡副都心クリスマスマーケット
- P5 YOUTH FESTA HIGASHI 2019 / SDGs を学ぶ
- P6 小学生対象プログラミング教室 / 高付加価値農業
- P7 古賀モノづくり博 / 古賀市防災・ふるさと納税
- P8 立花小学校 ICT 体験授業 / 島原観光振興アプリ開発
- P9 博多湾シンポジウム / 福津市役所インターンシップ
- P10 FIT ポイント制度





# 福岡未来創造プラットフォーム始動

## 福岡未来創造プラットフォーム共同発表



福岡市 × 地元産業界 × 福岡都市圏 15大学

### 福岡 15 大学、福岡市、地元産業界で チームを組み地域活性化・大学振興へ

福岡未来創造プラットフォームは、福岡都市圏初の産学官連携によるプラットフォームとして、2019年より本格的な活動を開始しました。

具体的には大学、福岡市、そして地元産業界が、既存の組織・領域・分野の枠を超えて連携・交流を促進することにより、福岡都市圏の高等教育の

質の向上と、地元福岡と地域社会の活性化に寄与することを目的に、①福岡市への学生集積②未来を担う人材の育成③学生の福岡市への就職・定着④福岡市の生涯学習や学校教育の支援⑤福岡都市圏の大学・自治体及び産業界との連携推進事業を進めます。

#### 大学

福岡工業大学、九州産業大学、九州大学、国際医療福祉大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫学園大学、中村学園大学、日本赤十字九州国際看護大学、日本経済大学、福岡歯科大学、福岡女学院大学、福岡女子大学、福岡大学

#### 自治体

福岡市

#### 産業界

福岡商工会議所、一般社団法人福岡中小企業経営者協会



### 学生交流 プロジェクトが スタート

福岡都市圏 15大学

福岡工業大学は福岡未来創造プラットフォームで地域人材育成ワーキンググループの幹事校として参画し、大学の垣根を超えた学生のネットワーク構築に取り組んでいます。

そのキックオフとして学生交流プロジェクトの第1回ミーティングが2019年7月10日に福岡市役所本庁舎15階講堂で開催されました。9大学61名の学生交流プロジェクトメンバーのうち36名が参加し、学生交流プロジェクト概要を共有すると共に、グループにわかれ学生交流プロジェクトに期待することやプロジェクトの中でやってみたいことについてフリーディスカッションを行いました。学生交流プロジェクトは年1回募集を行い参加する学生を募っています。





## 国際規模のビジネスイベントを担う 未来のビジネス人材へ。 7時間の集中講義を実施



### MICE 人材基礎講座スケジュール

9:00-10:30	講義1：日本におけるMICE産業の発展性 国際規模のビジネスイベント「MICE」についてMICEの定義、歴史、重要性、福岡での国際イベント事例と波及効果、今後の発展可能性などの基礎知識
10:40-12:00	講義2：福岡における国際MICEイベントの事例と波及効果
13:00-16:10	講義3：ワークショップ「学園祭で地域を盛り上げよう」 「学園祭で地域を盛り上げるには？」をテーマに自分達でSmall MICEを運営するワークショップ
16:20-17:00	講義4：MICEに係る福岡市・福岡観光コンベンションビューローの取り組み

福岡市の行政課題の一つである観光・MICE人材の育成に寄与するため、未来を担うビジネス人材の育成を目標にプラットフォームで産学官連携によるオリジナルの共同教育プログラムを開発しています。

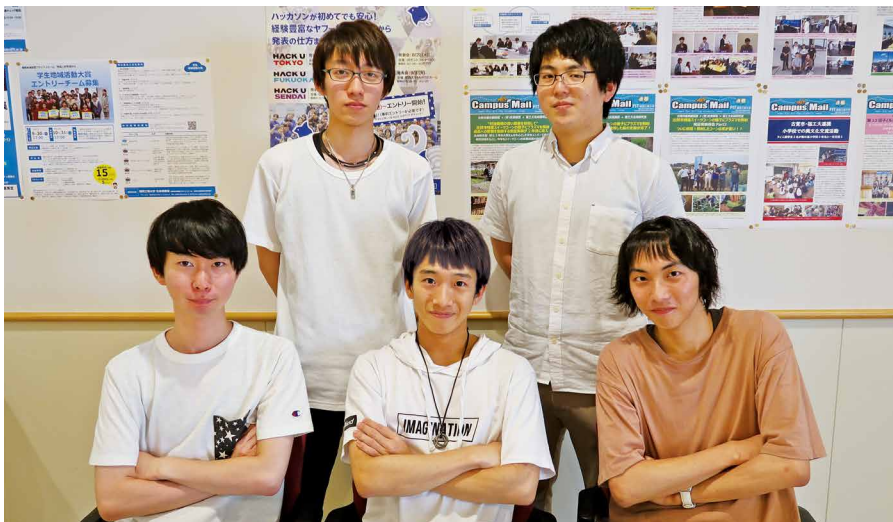
2019年度は大学在学中からグローバルに活躍できる人材の育成を目標に、福岡市・(公財)福岡観光コンベンションビューロー主催の

「MICE×グローバル人材育成プログラム」を補完する形でMICEの学術面にスポットを当てたオリジナルセミナーを開講。2020年2月4日に福岡工業大学で開催した講座には7大学から参加した学生23名に社会人を加えた24名が参加しました。

MICEとは：

企業等の会議(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体・学会等が行う国際会議(Convention) 展示会・見本市・イベント(Exhibition / Event)の頭文字。  
多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

## 学生を対象とした新規顧客層開拓事業で 起業体験



大学生の起業体験やビジネスプラン実現を応援する福岡未来創造プラットフォーム主催の「ビジネスチャレンジ事業」に、本学よりエントリーした学生が所属するチーム「Hi-TECO」が、九州大学、西南学院大学、九州産業大学、筑紫女学院大学等の申請グループとともに2019年度の事業として採択されました。

Hi-TECOは、情報工学部情報システム工学科1年の3名と、同システムマネジメント学科1年2名の福工大生5名と、事前セミナーで知り

合った福岡大学と西南学院大学の2名を加えた計7名による3大学合同チームです。申請した事業は、成長が期待される大学生を対象とした化粧品市場の開発に向けて、地元企業等から提供いただいた化粧品サンプルを大学生に使ってもらい、大学生の趣味・嗜好や消費動向を自ら開発したアプリを活用して分析し、地元企業等にフィードバックするサービスを実現しようとするものです。採択された各グループには、起業経験者や中小企業診断士といった専任アドバイ



### 2. ビジネスコンセプト

大学生が「買ってみたいもの」「使ってみたみたいもの」の試供品を安価で購入できるサービス。

「使ってみた」という大学生と、「使って欲しい」「ファンを獲得したい」というメーカーとの架け橋(プラットフォーム)を事業とする。



ザーが付き、学生たちはビジネスとして成功するためのアドバイスや指導を受けながら取り組みました。Hi-TECOメンバーはSNSを使って情報共有しながら活動し、アイデアの具体化や顧客開拓の難しさを体験しました。

2020年2月21日に開催された事業成果報告会では惜しくも入賞を逃しましたが、`起業のリアル、を学ぶ貴重な体験となりました。



福岡都市圏  
15大学

学生地域  
活動大賞

## 「シスマネ新宮町プロジェクト」が 審査員特別賞受賞



2019年12月7日、福岡市NPO法人・ボランティアセンターあすみにて福岡未来創造プラットフォーム主催の「学生地域活動大賞」2次審査が開催されました。この賞は福岡都市圏15

大学の学生達の日頃の地域貢献活動を広く社会にアピールするとともに、特に秀でた活動に従事したチームを表彰する為のものです。審査の結果、6大学8チームの中から新宮町の小学

校でのICT教育活動について発表した情報工学部システムマネジメント学科の「シスマネ新宮町プロジェクト」チームが審査員特別賞を受賞しました。

地元商店街 × 福岡都市圏  
15大学

福岡副都心  
クリスマス  
マーケット

## 福岡副都心に輝きを。 学生が大学の垣根を超えて活動



福岡副都心クリスマスマーケットは、天神や博多駅前で開催されているクリスマスマーケットのわくわく感や輝きを市内副都心にも広げ、福岡の街全体を盛り上げて行くために2018年より南区の大橋エリアと東区の香椎エリアでスタートしました。大橋商店街連合会と香椎商工連盟がタッグを組み、オリジナルマグカップの作成販売、飲食物や雑貨の販売、市民参加型ワークショップの開催など、「地域のお祭り」とは一味違うお洒落なイベントとして、新たな冬の風物詩になりつつあります。

福岡未来創造プラットフォームは、『福岡副都心クリスマスマーケット』の趣旨に賛同し、学生プロジェクトの1つとして9大学47名の学生が、イベントの企画提案と会場での運営サポートを

行いました。

2019年12月20日から25日までの開催期間中、学生達は大学の垣根を超えて、大橋や香椎の商店街で活躍する若手リーダーや福岡市職員の方々と協働しながら、積極的に活動に取り組みました。



## 福岡100 人生100年時代への チャレンジ

「福岡100大学」公開講座

テクノロジと  
社会の  
未来

「未来」について考える3日間

12月24日 12:00-13:00 パーチャルリアリティ最前線 福岡工業大学 情報工学部准教授 石田 智行

12月25日 12:00-13:00 AI時代の生き方を考える ロボットテクノロジー 福岡大学 工学部教授 梶田 達也

12月26日 12:00-13:00 異分野との連携を加速する ロボットテクノロジー 九州産業大学 理工学部教授 牛見 寛博

【会場】 福岡市役所 1階 多目的スペース (福岡市中央区東1丁目8-1)

【料】 無料 【申込】 不要 希望講座に申し込む(1講座100名程度)の人数が満席に達するまで、先着順に受付いたします。

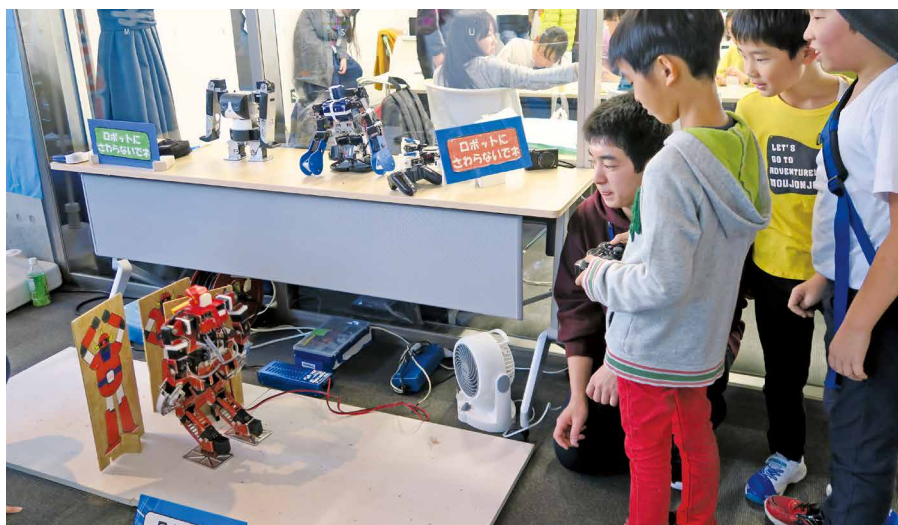
【お問い合わせ】 福岡大学生涯学習センター事務局 TEL: 092-877-4931 (FAX) 092-877-2043 受付: 10時~18時(土・日・祭日)

### 福岡100大学公開講座開催

人生100年時代を見据え、子どもから社会人、高齢者に至るまで地域の多様な人びとが主体的に学び・成長し社会で活躍できる学習環境を提供する「福岡100大学」の試みとして、情報工学部情報通信工学科石田准教授が「パーチャルリアリティ最前線」のテーマで講演会を行いました。



## 東区こども青少年文化祭に 大学・短大の学生が出展協力



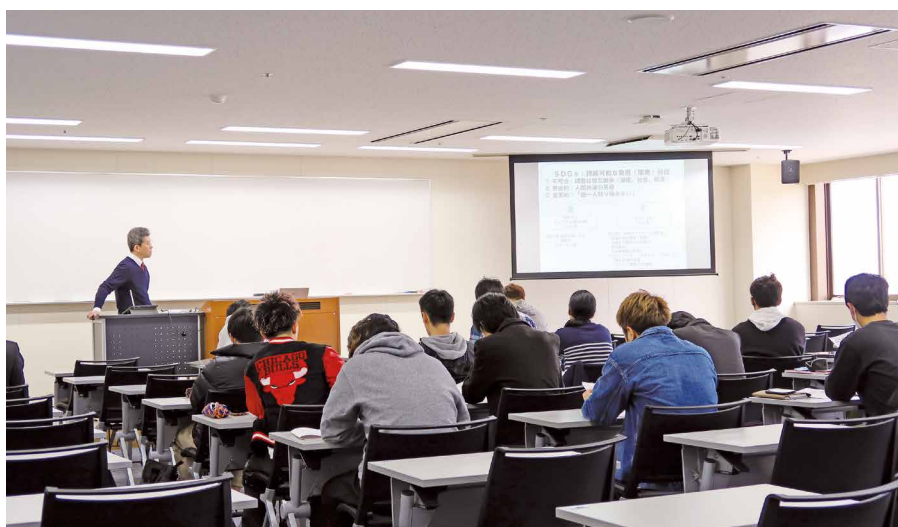
地域や学校、関係機関と連携し、就学前の子どもから小中高生たちの文化・芸術活動を奨励するとともに、好奇心を刺激し、創造力を育む様々な体験の場を提供することで豊かな人間性を育み、自己形成に資することを目的に実施している東区主催の「YOUTH FESTA HIGASHI 2019」（東区こども青少年文化祭）に、東部地域大学連携による地域貢献事業の一環として、子どもを対象とした「体験型展示・ワークショップ」に各大学の学生が主体となって出展しました。

2019年11月24日の当日、工学部電気学科高原研究室のブースでは4年生が子供達と一緒にクリップモーターカーを作りました。子供達は自作した車が走る姿に大喜びしていました。

また、短期大学部情報メディア学科弘中准教授が指導する「学ゲー展」プロジェクトが出展したブースでも短大生が制作したモーションキャプチャーを利用したゲームが人気を博し、本学ブースには合計500名を超える多くの方々にご来場いただきました。

- ・手作りモーターカーを作ろう(高原研究室)
- ・ゲームで遊ぼう! 福工大短大「学ゲー展」(弘中研究室)
- ・2足歩行ロボットで遊ぼう!(モノづくりセンター学生プロジェクト)
- ・キラキラ☆レジンアクセサリーづくり(モノづくりセンター学生プロジェクト)

## 3大学共同でSDGs講座を開講 社会環境学部藤井教授が登壇



### SDGsとは：

世界が抱える様々な問題を 2030 年までに解決するために作られた 17 の「持続可能な開発目標」。誰一人取り残さない社会の実現に向けて、日本政府をはじめ、地方行政、企業、教育機関等が積極的に取組を推進しており、現在は世界の共通言語として広く認知されています。

地球上の誰一人として取り残さない持続可能で包摂的な世界の実現を目指す「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」。

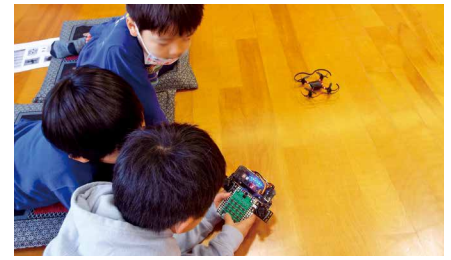
SDGsに関する取組の現地学習や事例の共有を通して、理解を深めると同時に、各人が自身の関心分野を切り口に、他者と連携しながら持続可能な社会やまちづくりの実現に寄与するための足がかりを得ることを目標に福岡工業大学、九州産業大学、福岡女子大学の3大学共同で2020年2月21日、25日、26日、3月3日の4日間

で共同開講科目「SDGsを学ぶ」を開講しました。

この講義ではSDGsに関わって実際の現場で活躍されている講師を招き、具体的な活動や努力、体験などの話を聴講した上でSDGsの基本理念や構造を講義やカードゲームを通して学ぶもので、福岡工業大学からは社会環境学部の藤井教授が登壇し、「経済のグローバル化とSDGs」というテーマで講演を行いました。



# 小学校低学年でも使えるロボット・ドローンのプログラミング教材を研究開発



ふくおか IT Workouts2019の取り組みとして、学生が開発に携わった教材を用いて、久留米市篠山校区のコミュニティセンターと筑紫野市の天拝小学校学童保育所で、昨年12月までに5日間9回のプログラミング教室を開催しました。

情報工学部情報システム工学科木室教授と4年生の堤康佑さんが講師役を、研究室の学生達が補助スタッフを務めるという体制で運営された教室には、小学校1年から6年まで延べ185名が参加。教室で使用したプログラミングロボット教材は2輪駆動の車型ロボットと手のひらサイズのドローンの2種類で、どちらも10個のボタンを押すことでロボットの動作をプログラムすることができます。小学生の学習支援に貢献する本研究は、来年度の4年生と大学院生が引き継ぐ予定で、教室運営をより良いものにするために、ドローン教材のさらなる機能追加やアンケート結果のフィードバックによる教授方法の改善に取り組んでいます。

## 情報システム工学科4年 堤 康佑さん

低学年ではロボットと遊ぶばかりだった児童も、高学年になるにつれて真面目に取り組んでくれるようになりました。又、プログラミングによってロボットを目的地まで到着させる課題を与えたところ、集中して取り組んでくれて、課題に取り入れて良かったと思いました。



# プラズマで成長促進 スイートコーン実証実験



私達の身近な生活にまで及ぶ幅広い研究が進められている「プラズマ」。

このプラズマを用いて、工学部電気工学科の北嶋研究室では古賀市と連携し、農作物の高付加価値化を目指す検証実験を行っています。市の特産品である甘みの強いトモロコシ「スイートコーン」の種にプラズマを照射。市内の(有)安

武園芸様の協力を得てこの種を育て、将来の商品化を目指します。

これまでの研究でプラズマが植物種子の発芽や苗の成長促進に効果があることは実証済みであり、2019年度はプラズマの力でスイートコーンを早く成長させることを目指しました。4月に種蒔を行い、7月に2回に分けて収穫。持ち帰ったコーン

の長さ、重さ、糖度の測定を行い、測定結果のデータをもとに様々な角度からプラズマ照射の有意性の検証を行いました。現在成果が出たとみられるのは、ある条件で照射して育てたもので、未照射のコーンに比べて平均で約30グラム重いという結果が出ました。次年度は実証実験を継続しつつ、発芽率や農薬の影響等を調査する予定です。



## PBLで企業・工場の課題を解決！ 「工場見学したいけんツアー」を実施



情報工学部システムマネジメント学科では実践的な力を養うことを目的に、地域と連携しPBL課題を設定し、課題解決を行う授業をプロジェクト形式で実践しています。この中で古賀市との連携プロジェクトとして2019年8月22日に「古賀モノづくり博 工場見学したいけんツアー」を実施しました。子ども達が工場見学を通じて様々なことを学び、製造の一部を体験することで地元産業についての理解を深め、ふるさとへの誇りにつなげることが目的です。

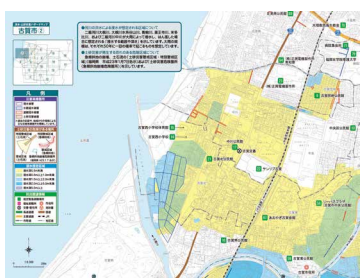
学生たちは4月から連携先企業7社と打合せと準備を重ね、迎えた当日は小学4年生から中学2年生までの児童・生徒約50名が参加し、学生が企画した4つのコースに分かれて市内の工場を見学、モノづくりを体験し地元産業への理解を深めました。学生たちはコースを引率しながら各企業の凄い所やモノづくりの面白さを子ども達にわかりやすく伝え、終了後は今回の体験学習について子ども達とグループで整理し、保護者・企業の方の前で発表しました。



古賀市プロジェクトはこの工場見学で終了することなく、後期にはそれぞれ担当した企業の課題解決へ繋げ、1年次・3年次前期に修得したインダストリアルエンジニアリングの手法やデータ解析の考え方などを利用して倉庫の段ボール配置の効率化、工場内の作業効率改善と人員配置の検討、和菓子の需要予測など、工場見学の企画を通して発見した課題を分析して改善策をスライドにまとめ、企業の方々に大学にお招きし成果報告会を開催しました。

## その他古賀市との連携活動

古賀市  
×  
福工大  
社会環境学科 森山研究室



### 「ハザードマップの盲点」 地域防災力向上へ研修会を実施

古賀市では、自治会毎に組織された自主防災組織同士の連携強化・情報共有を図るため、連絡協議会を設けて、毎年3回会議が行われています。この中で会員の意識向上や知識習得のための研修会を社会環境学部社会環境学科森山教授が実施しました。

ハザードマップの盲点や、雨水の利用を目指す社会のビジョン、具体的な取組、雨水タンクの活用例などを説明し、ハザードマップを持っているか、ハザードマップの読み方、降水レーダーを見て災害が判るかなどの実践的な内容を解説しました。

参加した自主防災組織の会長、民生委員・児童委員、古賀市職員の方は真剣に耳を傾けていました。

古賀市  
×  
福工大  
システムマネジメント学科  
傳研究室



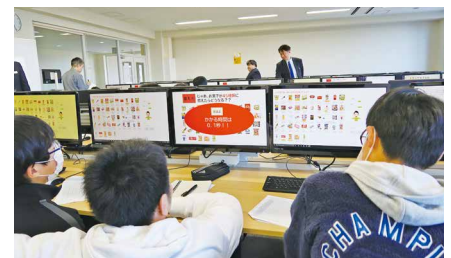
### データ包絡分析法による 効率的なふるさと納税戦略を提案

全国的に寄付者・件数・金額が増加し注目が集まっている「ふるさと納税」。そのふるさと納税を地域にとってより効率的で有益なものにするため、データ分析分野で情報工学部システムマネジメント学科と古賀市が連携しました。古賀市から提供された過去のデータを基に、システムマネジメント学科傳研究室の4年生小林里佳さんがデータ包絡分析法を用いてそれぞれの業者と返礼品の効率値や改善値を導き出し、効率値が高いもの・低いものどどのような特徴があるのかを分析し発表しました。

今回の調査で効率値の高い返礼品が判明したため、今後は効率値の低い返礼品を減らして見直すことや、もっと古賀市らしい商品を開発することなどを提案して発表を終了しました。



## 人間とパソコンの役割の違いは？ 大学生が小学校の ICT 授業を実施



情報工学部システムマネジメント学科3年生が課題解決型授業として取り組んでいる立花小学校ICT教育プロジェクト。

立花小学校での授業見学や模擬授業を経て、2020年2月14日に成果発表となるICT体験授業をB棟3階のPC室で実施しました。

当日は6年1組の児童15名、引率の先生方4

名、保護者の方2名が来校。冒頭、下村学長の挨拶に続いて、プロジェクトメンバー9名による体験授業がスタート。

学生達は学科で学んだアルゴリズムやプログラミングの知識を活用し、遠足に持っていくお菓子の組み合わせを題材に、人間とパソコンの役割の違いを児童と一緒に考える1時間の授業を

実施しました。

立花小学校の先生方や保護者の方々の熱い視線が注がれる中、授業をリードする教師役と児童一人ひとりの学習をサポートする役に分かれ、オリジナルの体験授業をチーム全員で創りあげました。

## 武将との顔類似度比較アプリ 「島原カオクラーベ」を開発



情報工学部情報システム工学科山本研究室では、島原市との連携事業の一環で、島原城の観光振興を目的に、島原に所縁のある武将やキャラクターの顔と実際の人の顔の類似度を比較するアプリケーション「島原カオクラーベ」を開発しました。

また、モーフィングという手法を使い自分の顔が武将にだんだんと近づいていく様子がわかる機能を追加するなど改良を加えました。2019年11月5日にはカオクラーベアプリをインストールしたパソコンを島原城の入

口に置き、改良したカオクラーベアプリを観光客に実際に利用してもらった検証実験を行いました。

利用していただいた方にアンケートを取ったところ、「島原の歴史に興味を持てたか」「アプリを楽しめたか」「観光PRに効果的だと思うか」などの評価項目において高評価の回答をいただき、観光振興を目的としたアプリとして概ね高い評価を得ることができました。

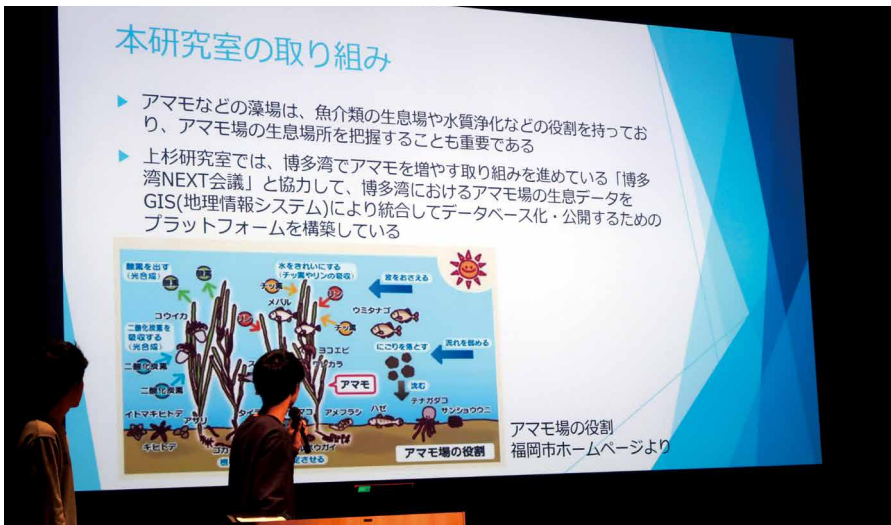
情報システム工学科4年  
岡松 晃弘さん

皆さん楽しみながら利用されていたので良かったです。このアプリを使うことで島原の武将を知っていただき、もっと島原に興味を持ってもらえば嬉しいです。





## 携帯電話で表示できる アマモ場の分布マップ作成の取組



2019年11月17日「博多湾シンポジウム豊かな博多湾の環境を次世代へSDGsでつなげよう、取り組みの輪—」で社会環境学部社会環境学科上杉研究室(空間情報学I、空間情報学II、環境地理学、環境デザイン論)学生の徳部光さんと永原勇希さんが事例報告を行いました。

事例報告では博多湾でアマモを増やす取組を進めている「博多湾NEXT会議」と協力して、GIS(地理情報システム)というシステムを活用し博多湾におけるアマモ場の生息場所把握のためのデータを統合してデータベース化・公開するためのプラットフォーム構築を発表しました。

2人は続いて行われたパネルディスカッションにも登壇し、自分たちの学びが社会、環境、経済につながるなどについて話し、産官学を代表するパネリストとの交流を体験しました。

### アマモ場とは：

アマモやコンブといった海草や藻類は海中でCO<sub>2</sub>を取り込むことで、CO<sub>2</sub>削減と気候変動の緩和に役立つとされている他、魚介類を育てる食料供給、海岸侵食の防止、観光に代表される親水など多様な価値がある。



## 福岡市役所との 課題解決型インターンシップ実施



報告会の後に福岡市 原崎市長(写真左から2人目)、松田副市長(同・左端)と

2019年8月19日～9月13日の1ヶ月間、工学部知能機械工学科3年國武一稀さんと情報工学部システムマネジメント学科2年前田陽輔さんが正課授業として行われている課題解決型インターンシップとして福岡市役所まちづくり推進室で実習を行いました。

インターンシップでは、「若い世代に読まれる『広報ふくつ』を目指して」をテーマに、市の抱える課題「子育て世代を中心に人口が増えている市にとって、特に若い世代の市民から読まれる広報紙とは何か」について2人は4週間をかけ福岡市内を巡りアンケートを実施、分析集計し、市長や副市長、市職員に報告、改善案を発表しました。

2人が提案した、主な改善案は以下の4つ。①子育てイベントを開き、広報に写真を載せる②市民に知られていない隠れ家的スポットを特集③ページをめくりたくなるような工夫をする④毎号読みたくなる、集めたくなるよう工夫する。市によると、改善案は以降の紙面編集時に意識するようになったほか、今後予定している紙面再編時にも生かせるように検討しているとのことでした。

終了後、2人は「活動を通して市民や市職員の皆さんのあたたかさや福岡市の魅力を学びました。この経験を就職活動に活かしていきます。」と話していました。





## FITポイント

社会貢献  
・  
自己啓発

# FITポイント制度で社会貢献・自己啓発など 課外活動に取り組む学生を 支援します。

# 994人が 参加!

(2019年実績)

## FITポイントとは？

福岡工業大学では、学生一人ひとりの在学中の活動履歴を学習ポートフォリオ“FIT-AIM”で可視化し、学生自らがPDCAサイクルをまわしながら、より主体的で深い学びへと導くための学修支援を実施しています。FITポイントとは、あらかじめ大学が指定する課外活動に取り組んだ学生が、FIT-AIMで振り返りを行うと、①活動内容、②活動時間、③移動距離、④期待される成果などを勘案したポイントを獲得できる本学独自の課外活動支援制度です。

## 貯めたFITポイントは自分の成長に活用

FITポイント制度では、獲得したポイントを在学期間中貯めて増やすことができます。獲得ポイントが100ポイントに達したら、学内店舗で使用できるチケットと交換します。海外派遣プログラムの費用の一部として活用することも可能です。ポイントは福岡工業大学、短期大学部、大学院に在籍する学生であればだれでも獲得できます。大学が求める「主体的で深い学び」を実践するための一手段として、多くの学生がFITポイントを活用してくれることを期待しています。

## 地域貢献等の課外活動に参加した学生数

年度	在学生数	対象事業数	活動人数(延べ)
2017	4668	40	218
2018	4819	51	914
2019	4764	37	994

## 参加した学生の声

福岡未来創造プラットフォームのMICE人材基礎講座に参加して、MICEの定義や過去の事例を知り、世界的に主要な産業であることを学ぶことができたので非常に良かったです。

他大学の学生とのグループワークも大変参考になりました!

(2年生女子)

古賀市の学童指導員補助に2年続けて参加しています。子供たちが主体的に行動できるように傍で手助けしています。

子ども同士が喧嘩することも多く、仲裁の仕方など判断に迷うこともありますが、子どもたちとの触れ合いはとても楽しいです!

(3年生男子)

## FITポイントの付与対象となる活動(例)



東部地域大学連携  
YOUTH FESTA HIGASHI



福岡未来プラットフォーム  
福岡副都心クリスマスマーケット



東部地域大学連携  
SDGsを学ぶ



# 2019年度 活動一覽

4月	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡未来創造プラットフォーム運営委員会</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>古賀市「シクラメンプラズマ照射種子の生育実証実験」2月より継続</li> <li>古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」開始</li> <li>シスマネPBL古賀市プロジェクト関係者意見交換会</li> <li>古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」定植</li> <li>新宮町「楯の松原デジタルマップ作成協力」開始</li> <li>新宮町「クリーン作戦（町内一斉清掃活動）」学生ボランティア参加</li> <li>福津市との教育連携・研究連携に関する関係者意見交換会</li> <li>島原市との教育連携・研究連携に関する関係者意見交換会</li> </ul>
5月	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡未来創造プラットフォーム代表者会議</li> <li>福岡未来創造プラットフォームWG幹事校合同会議</li> <li>福岡市「学生サポーター制度」ボランティア学生活動開始</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>シスマネPBL古賀市プロジェクト企業学生顔合わせ</li> <li>古賀市・福岡工業大学「第1回担当者連絡会」</li> <li>古賀市・福岡工業大学「第1回連携協議会」</li> </ul>
6月	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「留学生交流事業」第3回 なみき芸術文化祭」屋台出店</li> <li>東部地域大学連携「第1回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」</li> <li>福岡市ラブアーススクリーンアップ参加協力</li> <li>福岡未来創造プラットフォームWG幹事校合同会議</li> <li>東部地域大学連携「第1回推進委員会」</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>シスマネPBL古賀市プロジェクト「工場見学体験教室 第1回実行委員会」</li> <li>古賀市「留学生との国際交流」タイ人学生派遣</li> <li>古賀市「学習アシスタント」ボランティア学生活動開始</li> <li>新宮町アンビネット「子どものまるごと体験フェスタ」学生派遣</li> <li>新宮町・福岡工業大学「第1回連携協議会」</li> </ul>
7月	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「女子学生のための防犯推進協議会・女子高生対象防犯セミナー」開催</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム運営委員会</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムマネジメント学科PBL中間発表会</li> <li>ピオトープ研究会第53回自然観察会</li> <li>古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」収穫</li> <li>古賀市「地域公共交通会議」出席</li> <li>シスマネPBL古賀市プロジェクト「工場見学体験教室 第2回実行委員会」</li> <li>古賀市 総合計画策定過程への大学生参加 打ち合わせ</li> <li>新宮町「寺子屋事業」運営協力、ボランティア学生活動開始</li> <li>島原市との教育連携・研究連携に関する関係者意見交換会</li> </ul>
8月	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「教育研究協力・福岡女子大学 瀧下清貴教授学外実習」</li> <li>国公私環境系3大学連携「第8回ピオトープ研究交流会」</li> <li>東部地域大学連携「飲酒運転撲滅キャンペーン」参加協力</li> <li>「ふくおかITWorkouts2019CommunicationWorkout」参加</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>「課題解決型長期インターンシップ」活動開始</li> <li>福岡市プログラミング講座開催</li> <li>古賀市「小学生対象プログラミング教室」協力</li> <li>古賀市「第7回古賀モノづくり博『工場見学・体験教室』」</li> <li>古賀市「学童保育所補助指導員」ボランティア学生活動開始</li> <li>新宮町「こども体験クラブ」ボランティア学生派遣</li> <li>新宮町「サマーキャンプ」ボランティア学生派遣</li> </ul>
9月	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「放生会・合同パトロール」参加協力</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム代表者会議</li> <li>国公私3大学連携「第6回環境フォーラム」開催</li> <li>東部地域大学連携「東区委託事業中間報告会」開催</li> <li>福岡県警察本部 特別講義開講「警察の交通事故統計」</li> </ul>

10月	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>医介学連携「福岡和白病院体操教室」ボランティア学生派遣</li> <li>創生会「敬老祝賀会」ボランティア学生参加</li> <li>古賀市 スタートアップフォーラム 参加</li> <li>古賀市「自主防災組織連絡協議会」研修会講師</li> <li>新宮町 シスマネPBLでのICT授業実施についての協議</li> <li>新宮町「こども体験クラブ」ボランティア学生派遣</li> </ul>
	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「安全・安心まちづくり県民の集いふくおか・防犯団体表彰式」出席</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム運営委員会</li> </ul>
11月	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピオトープ研究会第54回自然観察会</li> <li>医介学連携「奈多創生園作品展」出展</li> <li>医介学連携「三苦地区住民安心メール登録会」学生ボランティア派遣</li> <li>古賀市 合計特殊出生率算出プログラム 打ち合わせ・事業開始</li> <li>シスマネPBL古賀市プロジェクト「工場見学体験教室 第3回実行委員会」</li> <li>古賀市 ふるさと納税の広報・返礼品についての協力 打ち合わせ</li> <li>古賀市 総合計画策定過程への大学生参加 打ち合わせ</li> <li>新宮町 立花小学校児童・学生交流</li> </ul>
	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「YOUTH FESTA HIGASHI2019」体験ワークショップ協力</li> <li>「ふくおかITWorkouts2019 PresentationWorkout」(成果報告会)参加</li> </ul>
12月	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>古賀市「第5次古賀市総合計画策定過程への大学生参加に関する意見交換会」</li> <li>新宮町・福岡工業大学「第2回連携協議会」</li> <li>新宮町 楯の松原のマップ作製 打ち合わせ</li> <li>島原市「島原カオクラーベ（武将との顔類似度比較アプリ）検証実験」開始</li> <li>島原市との教育連携・研究連携に関する関係者意見交換会</li> </ul>
	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地域大学連携「第2回推進委員会」</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム「学生地域活動大賞」</li> <li>東部地域大学連携「第2回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム「福岡副都心クリスマスマーケット」</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム運営委員会</li> <li>福岡未来創造プラットフォーム「福岡100大学講演会」</li> </ul>
1月	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピオトープ研究会第55回自然観察会</li> <li>古賀市 第2回担当者連絡会</li> <li>新宮町 「こども体験クラブ」ボランティア学生派遣</li> <li>新宮町 シスマネPBL立花小学校ICT授業 模擬授業</li> <li>新宮町 「歳末一斉安心安全パトロール」ボランティア学生派遣</li> </ul>
	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>教養教育科目「地域創生入門」成果報告会</li> </ul>
2月	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>古賀市「PBL成果発表会」</li> <li>古賀市「モビリティマネジメント成果発表会」</li> <li>古賀市「シクラメン・スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験成果発表会」</li> </ul>
	大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡未来創造プラットフォーム「MICE人材基礎講座」開催</li> <li>東部地域大学連携「第3回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」</li> <li>東部地域大学連携「クリーン大作戦」実施</li> <li>東部地域大学連携「第2回推進委員会」</li> <li>東部地域大学連携共同開講科目「SDGsを学ぶ」開講</li> </ul>